

卯年の話題



◆ 平成23年の干支

- 平成23年の干支は、「辛卯」(かのとう・しんぼう)です。
- 「卯」は、“くつわかがみ”、すなわち、馬が口の中を含む銜を口の外で手綱に結びつける左右対称の金具(鏡板といいます)を表しています。卯という字は左右対称であることから、二つそろって一対になって使うものを意味しており、そこから“門を開いた形”を表しているとされ、草木が土を割って芽吹き、やがて地面を蔽う繁茂の勢いを示していると言われています。また「卯」という字がウサギの耳に似ているところから卯がウサギを意味することになったようです。
- 卯年は、陽気が突き動かされますので、はじめじめした陰気を吹き飛ばし、良い意味では繁茂・繁栄しますが、悪くすると紛糾し、動きがとれなくなりますので、山積している諸問題を用心深く注意しながら解決してゆくべき年であります。
- 卯年生まれの性格
長所 温厚。従順。愛嬌があり交際も円満。座談じょうず。向学心旺盛。知識、才能にすぐれる。高尚な気質。貴公子然としている。
短所 概して無頓着。移り気し易い。怠慢。優柔不断。空中楼阁的な考えから時間を浪費しがち。利害得失の伴うことは苦手。
- 卯は十二支の第四で、方角は東。時刻は午前六時、または午前五時から七時までの間をさす。因みに来年の「恵方」(その年の福の神「歳徳神」が降臨する方角)は南微東、すなわち、やや東寄りの南です。

◆ 卯にちなんだ故事・ことわざ

二兎を追うものは一兎をも得ず

欲を出して同時に二つの事をやろうとすると、どちらもうまくいかず“虻蜂とらず”になってしまう。

株を守りて兎を待つ

いつまでも昔からのやり方や、一度成功した経験を守っていて融通のきかないこと。

兎を見て犬を放つ

兎を見つけてから犬を放ってもまだ遅くない、手遅れだと思ってもあきらめないこと。失敗を改めるのに遅すぎることはない。

兎の耳

いろいろなことをよく知っている地獄耳のこと。

兎の登り坂

地の利を得て物事が良い条件に恵まれ、得意の力を発揮することのたとえ。

◆ 卯年の主な出来事

— 1939年(昭和14年) —

小学校五・六年生に武道を課す。ノモンハン事件

— 1951年(昭和26年) —

サンフランシスコ講和会議で対日平和条約・日米安保調印

— 1963年(昭和38年) —

黒四ダム完成。吉展ちゃん誘拐事件。狭山事件。鶴見事故。三井三池三川鉍粉塵爆発事故。ケネディ大統領暗殺

— 1975年(昭和50年) —

山陽新幹線、岡山・博多間開通。沖縄海洋博開幕。蒋介石没

— 1987年(昭和62年) —

国鉄民営化 JR 六社発足。新電々三社スタート。利根川進ノーベル医学生理学賞受賞。ニューヨーク株価暴落(ブラックマンデー)

— 1999年(平成11年) —

通貨「ユーロ」誕生。NTTドコモがiモードサービス開始。武蔵丸横綱。台湾中部大地震

※参考：『続・十二支のE話』戸出 武、大龍堂書店